



石炭火力のある未来

or

石炭火力のない未来

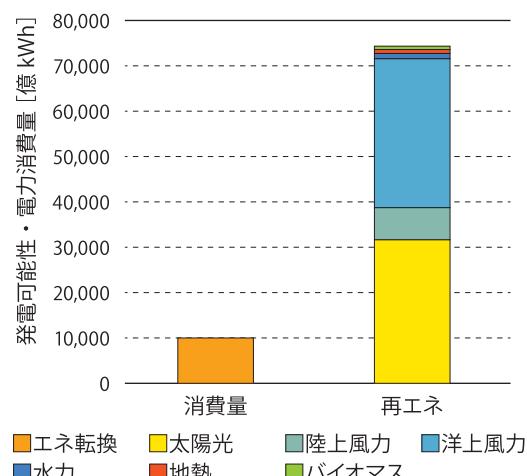
# 私たちが選ぶ未来を創ろう!

2022年夏、40°Cを超えるような酷暑となり、集中豪雨や大型台風の被害が深刻化するなど、気候変動の進行を一段と身近に感じるようになった人は多いのではないでしょうか。また世界各地の異常気象も深刻で、パキスタンでは国土の3分の1が水没したり、エチオピアでは雨季に3年連続で雨がふらないなど、洪水や干ばつで数千万人規模で人々が被災し、命を脅かされています。

気候変動の最大の原因是化石燃料の燃焼など人間活動による温室効果ガスの排出です。中でも石炭火力発電所は、CO<sub>2</sub>の排出が最も多く気候変動を加速します。多くの人が疑問や不安に感じる中で、横須賀市久里浜で石炭火力発電所の建設が進み、2023年から稼働されようとしています。今後、新たに石炭火力発電所が稼働すれば、大量のCO<sub>2</sub>を排出し、地球の平均気温を確実に押し上げていくことになります。

私たちが使う電力は、化石燃料を使わずとも自然の力で賄うことが可能です。日本には、現在消費している電力を賄うだけの自然エネルギーのポテンシャルが十分にあるのです。これからの未来は自然エネルギーの力を生かしていく時代をつくっていくことが重要です。今、私たちは、未来を選ぶ大きな責任があります。

現在の電力消費量と日本の再エネポテンシャル



出典) 資源エネルギー庁、環境省のデータから作成

CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>

# 横須賀の気候アクション

## 「請願署名」に参加してください！

CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>

### ！横須賀の石炭火力発電所がかかえる様々な問題

#### 726万トンものCO<sub>2</sub>を毎年排出することに

1号機・2号機が動くと、年間360万tの石炭を燃やし、726万トンのCO<sub>2</sub>を排出します。このCO<sub>2</sub>排出量は横須賀市全体の年間排出量の約3.8倍、神奈川県の年間排出量の約1割に相当するような規模で、市民の温暖化対策の努力をかき消す量です。

#### 石炭価格は急激に高騰し電気代アップに

今、世界的なエネルギーの高騰で、石炭もこの2年で3倍以上に価格が跳ね上がっています。石炭火力は決して安い電気ではなく、電力料金を押し上げる原因になっています。その点、太陽や風はタダですから、最初の設置コストだけで、発電にはお金がかかりません。

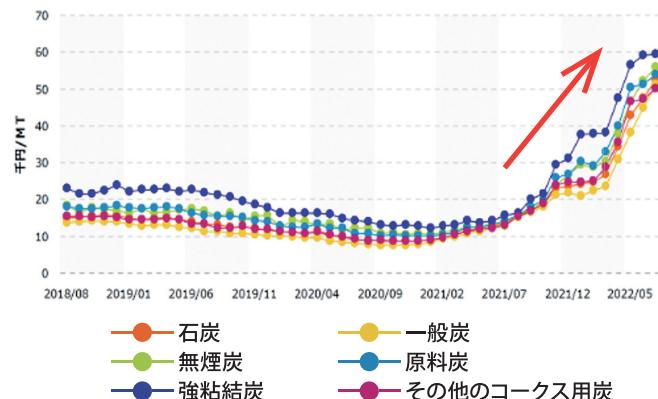
#### 横須賀に石炭火力がなくても停電にはなりません

電力が足りなくなるという話を聞いて不安に感じている人もいるかもしれません。

しかし、日常的には電力は十分足りており、むしろ、火力発電所を日中止めなければならないほどです。

つまり、今必要なのは、新しい石炭火力発電所ではなく、柔軟な電力の送配電システムと需要側のコントロールなのです。

石炭価格はこの1年で高騰



### ！“ゼロエミッション火力”はウソです

JERA(発電所会社)は、コマーシャルを通じて「ゼロエミッション火力」に挑戦すると宣伝しています。ゼロエミッション火力とは、燃やしてもCO<sub>2</sub>を排出しないアンモニアを燃料にしたり、石炭火力を燃やして出てくるCO<sub>2</sub>を回収して地中に埋めたりする技術のことを指しているようです。しかし、アンモニアのもとになる原料には化石燃料が使われており、製造段階で大量のCO<sub>2</sub>を排出するため、全体で見ればたくさんの二酸化炭素を排出しています。またCO<sub>2</sub>を回収する技術や埋める技術は実用段階になく、安全に埋められる適地もありません。仮に遠い将来に実現できたとしても膨大なコスト(電気代の上昇)がかかるでしょう。再エネの方がコストも圧倒的に安く、現実的です。

### ！横須賀市は石炭火力のない未来を選択している!?

横須賀市は、上地市長が2021年に「ゼロカーボンシティー宣言」を宣言しました。2050年までに横須賀の温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするという宣言です。この宣言を本当に達成するには、新しい石炭火力発電所を来年以降に動かすなどという選択肢はないはずですが、横須賀市はこの石炭火力発電所の存在に目をつむって、横須賀からの排出とみなしていません。

横須賀市として、ゼロカーボンシティーを目指す以上、市役所、市議会、市民共に再生エネルギーを中心としたエネルギー政策に取り組むことが必要です。



「気候危機対策待ったなし 石炭火力発電所の稼働中止決議を求める請願署名」賛同団体(10月21日現在)

- ・あと3年地球を守るのは今だから石炭火力を考える地域の会
- ・ハイランド石炭火力発電所建設を考える会
- ・よこすかオレンジの会
- ・NPO法人気候ネットワーク
- ・Fridays For Future Yokosuka
- ・エコストア・パパラギ
- ・SHO Farm
- ・衣笠駅徒歩1分図書館
- ・横須賀市民法律事務所
- ・神奈川県労働組合総連合
- ・もう作らないで核燃料!
- ・焼肉食堂げんこつや
- ・ベジカフェ THE CHOICE
- ・ヒマラヤンベーカリー
- ・株式会社ニュートリサポート
- ・横須賀平和委員会
- ・新日本婦人の会横須賀支部
- ・神奈川みなみ医療生活共同組合
- ・玉姉妹
- ・横須賀民主商工会
- ・日産プリンス神奈川販売株式会社武山店
- ・横須賀 YMCA
- ・RIMCOリムコ設計事務所
- ・横須賀革新懇
- ・横須賀市民九条の会
- ・「いらない!原子力空母」
- ・かなごてファーム
- ・株式会社エコライフコーポレーション
- ・NPO法人気候危機対策ネットワーク
- ・婦民新聞湘南三浦半島読者会
- ・飯島観光みかん園
- ・自家製麺「おててあて」
- ・insideout
- ・NPO法人 YMCA コミュニティサポート

連絡先：横須賀火力発電所建設を考える会・people power よこすか 共同代表 鈴木 陸郎 TEL: 046-847-3253

